第８回府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会
会議録（要旨）

■開催年月日　　令和６年１０月２日（水）　午前１０時から午前１１時まで
■開 催 場 所　　府中市役所おもや４階会議室
■出席委員等　　１１名（他代理１名・名簿順）
森本章倫委員、大門創委員、関澤貴史委員、嶋澤俊之委員、野田聡委員、中原幹委員（代理阿部氏）、倉科大地委員、濁澤雅委員、三浦裕介委員、小池毅委員、山岡法次委員、野口勉委員
■事　務　局
浅野副市長、髙橋財産活用課公有地担当主幹、大室地域安全対策課施設管理係長兼自転車対策担当主査、轟道路課長、三浦計画課交通企画担当主幹、日原まちづくり拠点整備推進本部長兼分倍河原駅周辺整備担当主幹、髙島分倍河原駅周辺整備担当副主幹兼分倍河原駅周辺整備担当主査、賀戸分倍河原駅周辺整備担当主査、岡村主任、薄井主任、鷹野事務職員、関事務職員
■欠 席 委 員　　２名
市野将英委員、桂健太郎委員
■傍　聴　者　　５名
■議 事 次 第
１　開会
２　議題
⑴ 地元住民との協議状況について
⑵ 答申（案）について
⑶ 府中市都市・地域交通戦略【分倍河原駅周辺地区】の改定について
⑷ 府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会の今後の開催予定について
３　その他

■会議概要

１　開会

【事務局】　それでは定刻になりましたので、始めさせていただきます。皆様、本日は大変お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、府中市まちづくり拠点整備推進本部長の日原よりご挨拶申しあげます。

【本部長】　委員の皆様、こんにちは。まちづくり拠点整備推進本部長の日原でございます。本日はお忙しいなか、お集りいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より分倍河原駅周辺地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、改めて感謝申しあげます。さて、これまでは、都市・地域交通戦略の実施プログラムや評価指標、目標値の見直しなどについて、皆様にご議論いただいたところでございます。スケジュールの見直しにつきましては、様々なご意見をいただきましたが、市としましては、より明確な今後のスケジュールをお示しすることができ、見直し内容はより精度が高くなったものと考えております。今回は、市とともに分倍河原のまちづくりを進めている、まちづくり協議会の開催状況についてご報告させていただいた後に、令和５年１０月に市長より諮問をさせていただいた事項について、答申をいただきたいと考えております。本市といたしましては、分倍河原駅周辺地区のまちづくりを推進する上で要となる「都市・地域交通戦略」に掲げる施策を着実に実現するため、引き続き、委員の皆様より貴重なご意見を賜りたいと存じますので、本日もどうぞよろしくお願い申しあげます。

【事務局】　ここで事務局からお願いがございます。議事録作成のため、本協議会の録音や記録用の写真撮影をさせていただきますので、ご了承ください。以降の議事進行につきましては、森本会長にお願いしたいと思います。それでは、森本会長よろしくお願いいたします。

２　議題

【会　長】　ただいまから、第８回府中市都市・地域交通戦略推進協議会を開会いたします。まず、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

（事務局より出席状況の報告）

【会　長】　続きまして、傍聴者の有無について事務局から報告をお願いします。

【事務局】　本日の会議につきましては、９月１５日号「広報ふちゅう」にて告知し、５人の傍聴希望者がおりました。

【会　長】　傍聴希望者がおりますので、傍聴を許可してよろしいでしょうか。それでは、傍聴者の入室までしばらくお待ちください。

（傍聴者の入室）

【会　長】　それでは、事前にお配りした次第に従いまして、次第２「議題」に移らせていただきます。進め方としましては、まず議題（１）（２）について事務局から一括して説明いただいたのち、意見をいただきたいと思います。その後、議題（３）（４）について事務局から説明いただいた

のち、再度意見をいただきたいと思います。それでは、事務局から説明をお願いします。

（議題（１）（２）について、配布資料に基づき事務局より説明）

【会　長】　それでは皆様のほうから質問や意見をお受けしたいと思います。

【委　員】　資料５について、当初計画から５年遅れた理由として、鉄道事業者との基本協定の締結により事業が具体化したと記載がありますが、基本協定の締結ができなかったのか、それともコロナの影響で基本協定締結が土台に乗らなかったのか分かりません。何か理由があるのではないかと思いますが、おそらくコロナの影響であると感じます。

また、駐輪場に関しては、資料を見ましたが、用地買収や他の土地を使って整備するといったことは記載してありますが、具体的に駐輪場をどの場所に作るのか、またどのタイミングで作るのかはっきりしません。駐輪場ができることについては資料の中では分かりますが、地元住民は駐輪場を気にしておりますので、今後どのように進めていくのか分かればと思います。

【事務局】　１点目について、鉄道事業者様との基本協定の締結は令和４年に行いました。また、まちづくり基本計画は令和２年に策定し、その後に関係者との協議をしてきましたが、先ほど委員からお話がありましたように、まちづくり基本計画の策定後、コロナの時期もございまして、なかなか協議が進まなかったということもございます。また、具体的にまちづくりの提案書もいただき基本計画を策定したため、慎重に調整をさせていただき、基本協定の締結が令和４年になったところでございます。どの事業者が、どの範囲を、どのように整備するかといった内容を基本協定で結んでおりまして、事業が具体化し形になってきましたので、スケジュールの見直しを行ったところでございます。

２点目の、駐輪場の関係でございますが、分倍河原駅の南側に駅直結の駐輪場がございまして、その駐輪場の移転は今回の施策の中にございます。大きい安全対策といたしまして跨線橋の再整備、駅舎の改良工事を行いますが、自転車駐輪場の場所については、工事ヤードとして必要であり、また自転車ネットワーク上に自転車駐輪場を設置する計画としております。現在、具体的に場所を決定しておらず、関係者、事業協力者と個別で交渉しているところでございますが、駐輪場の場所は分倍河原駅周辺地区のエリア内で、自転車ネットワーク上使いやすいところで、選定していきたいと考えております。以上でございます。

【委　員】　ありがとうございました。コロナが大きな影響であり、基本協定が遅れたということ、また基本協定の締結を進めていくのかどうかという考えもあったのではないかということで、わかりました。答申（案）を見ると、駐輪場をなくすのではなく、要望に応えるような形で駐輪場をつくるということがはっきりしなかったので、確認をしました。

【会　長】　自転車駐輪場については、施策２－２となり、資料８の４３ページに必要台数の考え方の記載があります。定期待ち人数を０人に削減することを目標としておりますので、今後速やかな検討を進めていただくことをお願いしたいと思います。他にいかがでしょうか。

【委　員】　先ほどの委員の１つ目の質問に関連しますが、資料５にスケジュール

が遅れた理由として、鉄道事業者との基本協定の締結により事業が具体化したと記載があります。こちらについて、当初交通戦略策定時は、まだ誰がどのように分担するかといった具体化ができない、不確実性がある中でスケジュールを組んでいましたが、今回の基本協定の締結により、より確度が高まったということが記載内容として書かれていると思います。また、コロナの影響で基本協定締結がすぐにはできなかったという理由も別であると思いますので、２つの理由を両方併記しておくと、より理由が具体化するのではないかと思いました。

【事務局】　当初計画策定時には、どのようにこの計画を進めるかという考え方を作っております。この計画に基づいて、交通戦略だけではなくソフト面も含めたまちづくり全体の考え方を整えるため、最初に取り組んだのがまちづくり基本計画を作ることでした。まちづくり基本計画の作成と並行して、鉄道事業者様と非常に慎重に様々な議論を重ねた結果、ある程度の時間を要しましたが、今日時点においては、より確度の高まった計画となりました。市としましては、この計画を進める目標値として令和１８年までと示せたことは大きな進歩であると思っています。また、コロナが要因で社会が大きく変わった部分もあり、社会情勢の変化も含めて検討をさせていただきましたので、結果的に今日ご報告いたしましたスケジュールになったというところがございます。

【委　員】　今後コロナのような不測の事態に陥るかもしれないですが、計画の見直しというのは５年ごとに行うのか、それとも準見直しとして３年ごとに行い、計画が延びるのか、または縮まるのかといった検討はされるのでしょうか。

【事務局】　見直しにつきましてはＰＤＣＡサイクルということで、計画作成後もチェックして確認、見直しをいたします。進行管理については本協議会にもお願いしております。本日、答申（案）についてご議論いただいており、委員の皆様におかれましては、今後も引き続き分倍河原駅周辺地区について進行管理等を行っていただきたいと考えております。その中で大きな変化がありましたら、その変化も踏まえて時期や見直しについてご相談させていただければと考えております。

【会　長】　他にご意見ありますでしょうか。今回は答申でございまして、今いくつかご意見をいただきましたが、基本的には答申内容を大きく変更することはないと理解しました。この答申（案）でよろしいでしょうか。それでは、この答申の（案）を外して市に提出をさせていただきます。ありがとうございました。それでは続いて、議題（３）、（４）に移りたいと思います。最初に事務局から説明いただいた後にご意見いただきたいと思います。それでは、事務局から説明をお願いします。

（議題（３）（４）について、配布資料に基づき事務局より説明）

【会　長】　それでは皆様のほうから質問や意見をお受けしたいと思います。
私から１点確認がございますが、パブリックコメントに出す資料は、交通戦略本編の（案）ということでよろしいでしょうか。

【事務局】　パブリックコメントする資料につきましては、資料８となりまして、この本編についてご意見をいただきたいと考えております。

【会　長】　それでは皆様のほうから質問はございますか。

【委　員】　本日の説明でご紹介いただいた地元の方々について、まちづくり協議会やにぎわい検討部会の開催も行っているということで、資料８で現況の分析、課題、例えば６，７ページに地元の住民のニーズが記載されておりますので、まちづくり協議会、にぎわい検討部会から出ているお話で盛り込めることができそう、もしくは参考資料としてつけられるものがあれば盛り込んでもよいのではないかと思いました。

【事務局】　今後も引き続き地元との協議を行ってまいります。本協議会での答申や今後行う地元協議会の意見も踏まえ、また市民に対してのパブリックコメントも行いまして、意見を徴収しながら改定を進めてまいりたいと思います。

【委　員】　今まで分倍河原駅周辺整備の話は３０年以上しており、今回５年延びたということに対して慎重に地元住民に説明しなければいけません。また遅れるのではとあきらめがでてくると困ると思います。今回答申とのことで、５年遅れているため、できるだけ期間を縮める勢いを示し、是非委員の皆様方と市の皆様でこの計画を死守し、これ以上遅れない、もしくはそれより前倒しで進めていくといったことを住民だけでなく鉄道関係者の方も心においていただいて進めていただければと思います。

【会　長】　今のご意見ですが、前回も類似のお話をいただきまして、資料３の答申（案）２で、事業の実施に当たっては、ステップにとらわれることなく、各施策において早期の実現に向けて取り組んでいただきますようお願いいたしますという文面があり、まさしくこの部分であると理解をしております。地元については１年、２年が大変重要な時間であり、時間がずれるということは事業化において大きなハードルになるということは、我々全員で認識をしながら１日も早い実現に向けて歩んでいただきたいと思います。また、目標を前倒しすることについては非常にいいことでございますので皆様と情報共有しながら進めていければと思っております。

【事務局】　本交通戦略は、当初令和５年から工事着手の計画でございましたが、今回改めて見直しを行い、令和１０年から工事着手としております。本事業は鉄道事業者様とも大きく関係する事業でございまして、基本設計は昨年度、今年度と順調に進んでおり、来年度から実施設計を行う予定でございます。また、今回の事業については、用地取得を伴うため、関係部署と連携をしながら進めてまいります。地元の方、特にまちづくり協議会の方については大変お待たせしているところではございますが、鉄道事業者様との基本協定の締結や、地元の事業協力者の方に対して個別にお話しさせていただいておりまして、市としましても実現に向けて誠意をもって着実に進めていきたいと考えております。引き続き、進捗については本協議会でもご報告をさせていただければと考えております。

【会　長】　他にご意見ありますでしょうか。それでは議題（３）、（４）については以上とします。

続きまして、次第３「その他」について、事務局から何かありますか。

３　その他

【事務局】　事務局から２点お知らせします。

まず、１点目として、委員の委嘱についてです。委員の皆様の任期に

つきましては、来年３月に終了いたしますが、本協議会は今後も引き続き開催したいと考えております。つきましては、来年４月から令和９年３月までの新しい任期の委嘱につきまして、４月以降に依頼させていただく予定ですので、ご協力をお願いいたします。

次に、２点目として、次回の開催につきましては、来年５月頃を目途に開催したいと考えております。先ほどもご説明させていただいた基本設計が今年度終わりますので、そのご報告もさせていただければと思います。日時等につきましては、改めてお知らせさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

【会　長】　ありがとうございました。皆様から今のご説明につきまして何かございますでしょうか。あるいは全体を通して言い忘れたことがあればお受けしますがいかがでしょうか。

【委　員】　駐輪場の整備について、にぎわい軸を計画で設定している以上、駐輪場がどうなるかという部分は計画に大きく影響を与えるものであり、駐輪場の調整は適切に進めていくのが大事であると思っております。先ほどのご説明の中で、現駐輪場の位置は工事ヤードとして活用するという話もありました。工事が完了した後、跡地活用の視点も今後大事になってくると思います。この戦略の計画に則り引き続き事業を推進していただきますようよろしくお願いいたします。

【会　長】　ありがとうございました。今年最後ということで、皆様から何か一言ございますでしょうか。

【委　員】　先ほどスケジュールでご心配されているというお話もありましたが、府中市さんと良好な関係で協議させていただき、基本協定を締結できました。これまで協議にご協力いただいたことをこの場をお借りして府中市さんにお礼申し上げたいと思っております。基本協定の締結までスケジュールが読めない難しい仕事でございました。基本協定締結後は、我々と基本設計をさせていただいておりますが、進むにつれてスケジュールの確度も上がっていきますし、我々もしっかりとまちづくりにご協力させていただきますので、ご理解いただければと思います。よろしくお願いいたします。

【会　長】　ありがとうございました。良好な関係で進んでいるということで、引き続きよろしくお願いいたします。他によろしいでしょうか。計画自身が少し後ろ倒しになるのは残念ではございますが、着実に進んでいくということが大変重要でございます。最近、計画も５年１０年先を見据えて決めますが、前に進んでいるのであれば計画を変更しながら進めていく、アジャイル型という進め方が中心となっておりますので、是非今回の計画もアジャイル型で進めていければと思っております。また、データに基づくまちづくりが重要でございます。行政側からすると、透明性や説明責任を果たすということがこれから必須でございますので、本協議会を活用されながら、市民に向けて実態を伝え、できるだけ透明性を図りたいと思っておりますので、引き続きこの会議体も含めて密に連携を取りながら情報を開示していただければと思っております。

最後に、浅野副市長様よりご挨拶をお願いいたします。

【副市長】　本日は色々とご教授いただき、ありがとうございました。ちょうど１年前の１０月に交通戦略の進行管理や見直しについて諮問させていただき、皆様方からの活発なご意見をいただき、今日答申をいただきまし

た。皆様おっしゃったように、スケジュールをリセットさせていただきましたが、実施段階に入ったということで、より鮮明に物事が分かってくると思います。常に進行管理を行い、見直しできるものは見直し、早くできるものは早くする、残念ながら遅くなるものはなぜ遅くなるのかその課題解決策を考えながらやっていくということで、目に見える形で今後動いていきますので、皆様からのご意見ご鞭撻をさらにお願いしたいと思います。本日はここまで議論を深めていただきありがとうございました。今後の交通戦略に活かしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【会　長】　ありがとうございました。それでは、本日の会議は以上でございます。以上をもちまして、府中市都市・地域交通戦略推進協議会を閉会させていただきます。皆様ありがとうございました。

以　　上